

2026 年度 春期実施
課程：後期
専攻：社会福祉学
No. 1

入 学 試 験 問 題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 英 語	受験番号
氏名	

〔Ⅰ〕以下の英文を日本語で全訳しなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

出典：
UNICEF (2025) The State of the World’s Children 2025- Ending Child Poverty: Our shared imperative

2026 年度 春期実施
課程：後期
専攻：社会福祉学
No. 2

入 学 試 験 問 題
(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 英 語	受験番号
氏名	

〔Ⅱ〕 次の英文を日本語に要約しなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

出 所：OECD (2025), How's Life for Children in the Digital Age?, OECD Publishing, Paris,
<https://doi.org/10.1787/0854b900-en>.

2026 年度 春期実施
課程：後期
専攻：社会福祉学
No. 1

入 学 試 験 問 題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

※

[I] 2014 年に国際ソーシャルワーカー連盟および国際ソーシャルワーク学校連盟によって採択された「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」本文は関係者に広く知られている。しかし、「中核となる任務」以下の詳細な展開部分は読み込まれることは少ない。

例えば、「知」の部分に以下のような記述がある。

この定義は、ソーシャルワークは特定の実践環境や西洋の諸理論だけでなく、先住民を含めた地域・民族固有の知にも拠っていることを認識している。植民地主義の結果、西洋の理論や知識のみが評価され、地域・民族固有の知は、西洋の理論や知識によって過小評価され、軽視され、支配された。この定義は、世界のどの地域・国・区域の先住民たちも、その独自の価値観および知を作り出し、それらを伝達する様式によって、科学に対して計り知れない貢献をしてきたことを認めるとともに、そうすることによって西洋の支配の過程を止め、反転させようとする。

この記述について、考えうる範囲で、肯定的、否定的双方の議論を展開したうえで、回答者の見解を述べよ。

2026 年度 春期実施

課程：後期

専攻：社会福祉学

No. 2

入 学 試 験 問 題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。

☒ 別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

[Ⅱ]

※

今日の日本では、頼れる身寄りのない高齢者への支援が課題となっている。
どのような支援のあり方や仕組みが必要なのか、ミクロ・メゾ・マクロの観点から自由に論じなさい。